

2021.6.10 thu
vol. 32

福島ロータリークラブ会報



ロータリーは
機会の扉を開く

2020-21 RI会長
ホルガー・クナー

【例会場】福島市上町4-30
クローカーリアンテ サンパレス
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp
info@f-rotary.com

http://www.f-rotary.com/

本日のプログラム

新会員スピーチ
新会員スピーチ

佐藤充孝 税理士事務所 税理士 佐藤 充孝 会員
JRA 福島競馬場 場長 藪 政勝 会員

会長あいさつ



2020-21 年度会長 五阿弥 宏安

最近のニュースで気になったのは昨年1年間で生まれた赤ちゃんの数が統計を取り始めて以来最小の84万人だったことです。今年は80万人を切ると予想されています。団塊の世代は1947年から49年までの3年間に生まれた世代で、年間260～280万人が誕生していました。その3分の1以下ですから大変な事態といえます。

少子化の傾向に拍車をかけているのがコロナ禍です。長引く経済の停滞で将来に希望が見えず、なかなか子供を持つ気になれないという人が増えています。3密防止で人と直接出会う機会が減り、仕事もテレワークが推奨され、出会いの場自体が減って恋愛もしづらくなっているようです。子供の数が減る一方ですが、このままでは日本人が絶滅危惧種としてレッドブックに載るかもしれません。

ここで少し歴史を振り返ります。「1.57ショック」という言葉をご記憶でしょうか？私が厚生省担当の記者をしていた1990年に発表された合計特殊出生率が1.57で、それまで最低だった「ひのえうま」の1966年の1.58を下回った衝撃を指した言葉です。当時はメディアで大きく取り上げられ、私もたびたび記事を書きました。しかし、政府が素早く対応することはありませんでした。政府も経済界も「ベビーブームはまたやってくる」と楽観視する向きが多かったようです。戦時中の「産めよ増やせよ」の国家政策への反省もあったと思います。

これが転換するのが90年代後半です。生産年齢人口が減少に転じ、ようやく事態の深刻さが広く認識されるようになり、少子化対策大臣なども設置されるようになりました。

とはいえ、少子化は政府が推し進めてきた目標でもありません。実は戦前、「人口は最後の武器」として人口増を目指した日本でしたが、戦後は人口の急増が大きな問題となりました。避妊の知識の普及が図られ、優生保護法の改正で中絶が合法化されました。統計によると年間150万件ぐらの中絶件数が報告された年もありますが、実際はもっと多かったようです。

このまま人口膨張や環境汚染が進めば、100年以内に地球上の成長は限界を迎えるという「ローマ・クラブ」の報告書「成長の限界」が世界中に衝撃を与えたのは1972年ですが、背景にはアジアやアフリカを中心とした人口爆発がありました。74年の人口白書は人口1億人を突破して増え続ける人口を抑えるため、出生の抑制を強化して2011年には減少を目指すことを打ち出しました。同じ年に開催された日本人口会議では「子供は二人まで」とのスローガンが採択されました。

考えてみれば、その後の日本の歩みは政府が望んだ方向に進んできたと言えます。ただ問題は少子化のスピードが早過ぎたことです。政府は高齢者対策には力を注ぎましたが、少子化対策はなおざりにされました。少子化への危機意識は極めて乏しかったと言わざるを得ません。高齢者は一票を持っていますが、子供には一票がありません。これも影響していると私は思っています。

ともあれ、将来の日本を考えた時、子供の減少は深刻な問題です。今からでも国は少子化対策に真剣に取り組んでほしいと思いますし、周囲も子育てに優しい社会であってほしいと思います。子供の声がうるさいと学校や幼稚園に文句を言う大人がいますが、子供の声が響かなくなった街に住みたくはありません。幸い、東北で一番出生率が高いのが福島です。福島で子育てをしたい。そう思う人がもっと増えることを願って会長あいさつといたします。

例会次第

開会点鐘 五阿弥宏安 会長

ロータリーソング「我等の生業」

丹治正博 会員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

みずほ証券 福島支店長 寺田 充 様

入会式

新会員

みずほ証券 福島支店長 寺田 充 様

(紹介者 渡辺健寿 会員)

会長あいさつ

五阿弥宏安 会長

幹事報告

佐藤美奈子 幹事



丹治正博 会員



寺田 充 様

各委員会報告

■公共イメージ委員会

*「友」6月号紹介

2020-21 年度委員会報告

田沼紀美子 委員長

■親睦小委員会

2020-21 年度委員会報告

岡田新也 副委員長

■例会小委員会

2020-21 年度委員会報告

丹治正博 委員長

■例会小委員会

金子與志人 副委員長

■本日のプログラム

開会点鐘

五阿弥宏安 会長



田沼紀美子 委員長



岡田新也 副委員長



金子與志人 副委員長

新会員スピーチ

佐藤充孝税理士事務所 税理士

佐藤 充孝 会員



佐藤充孝税理士事務所の佐藤充孝です。今年の2月に入会をしました。なかなか会員の皆様とお話する機会も無い中、このような貴重な機会を頂戴して誠にありがとうございます。

短い時間ではありますが私の自己紹介も兼ねてスピーチをさせていただきます。

私は昭和54年9月27日生まれの41歳です。家族は妻と娘が二人おります。自宅兼事務所は宮下町にあり、隣が渡辺健寿先生の事務所ですので、娘二人に声をかけていただいたりしております。娘のインコが脱走した際も先生の事務所のお庭にお邪魔させていただきました。

出身は福島市桜木町、競馬場近くの児童公園の目の前に実家があります。競馬場が近いということもあり、小さいときからまだ古い建物だったころの競馬場に父親に連れられてよく行っておりました。単勝一点勝負をしている父を見て少しだけカッコいいなと思った記憶がございます。私は一攫千金狙いの3連単です。

学校は福大附属小、中、福島高、福島大学を卒業し、これといった特に目立った活動をしておりませんでした。中、高ではサッカー部に所属しておりました。高校では部活に熱中し、学校の思い出といえば部活での出来事がほとんどです。高校サッカーの主な大会は、夏のインターハイと冬の選手権があります。サッカーといえば選手権を思い浮かべる方も多いと思いますが、私の学校では受験勉強のためにインターハイを終えると3年生が引退をするのが通例でした。しかし、私の学年は私も含め3年生の半分以上が選手権まで残り、11月まで部活を続けていました。監督からは「自分で11月まで部活を続けることを決めたのだから、サッカーを理由に勉強できないという言い訳は絶対するな、保護者にもきちんとサッカーと受験で結果を見せて感謝しろ」と言われ続け、成績が下がると練習に参加できなくなるというルールがありました。が、残った仲間の受験結果を見ると散々で監督からこっぴどく怒られました。大会の結果はというと、一回戦で第一シードを破り、勢いに乗って優勝といきたいところでしたが、ベスト8で終わりました。私は一度もレギュラーになることはありませんでした。最後の大会直前にマネージャーが骨折してしまったため、臨時でマネージャーに任命されました。マネー

ジャーになるイコール選手にはなれないということでしたが、最後の大会、皆が悔いのない結果が残すためにはどう動けば良いかを自分なりに考え、与えられた役割をしっかりと果すことがチームにとっていかに大事かを学ぶことができました。

実家は祖父が昭和26年に創業した段ボール製造業の会社を営んでおり、現在兄が三代目として事業を引き継いでおります。

祖父は戦争で中国に行き、戦後福島に戻ってきた際に希望していた職業に就くことができず、アイスキャンディーや納豆などを売り歩く行商をしていた中、酒の席で出会って意気投合した仲間と紙に関する仕事を始めることになったそうです。祖父は、あまり戦争の時の話や、起業当時の話をしませんでした。父からは相当苦勞したと聞いております。

当時は皆が苦勞した時代だとは思いますが、祖父が苦勞して作り、父が継続した会社を守っていきたくないと、跡継ぎではありませんが思っておりました。それが、私が税理士を目指すきっかけともなりました。小さい頃から、兄が会社を継ぐのだろうとなんとなくではありましたが思っておりましたので、経営者とは違う形で会社に貢献できないかと思い税理士の資格を取得しました。

さて、少し話を変えます。私は税理士として仕事をしております。税理士は税理士会に加入しないと税理士として仕事できませんので、私は東北税理士会福島支部に所属しております。登録する際には支部長面接というものがあるのですが、13年前登録する際の支部長が昨年お亡くなりになった紺野晴郎会員でした。そのような縁もあり、会うたびに「みっちゃん調子はどうだい？」と声をかけていただいております。何事も楽しくやらないとねといつもお話をしておりましたので、その言葉を忘れずに私も楽しくロータリーの活動に取り組んでまいりたいと思います。

ところで、近い将来、AIの発達により様々な職業がなくなるという話を聞いたことがあるでしょうか。聞いたことがある方も多いと思いますが、オックスフォード大学でAIを研究するマイケル・オズボーン氏が、同大学の研究員との共著で、2014年に「THE FUTURE OF EMPLOYMENT (雇用の未来)」という論文を発表しました。その中のなくなる職業ランキングにおいて、税理士が堂々の高ランクにランクインをしました。同氏は論文の中で、ITの発達による自動化(AIロボット化)により、「10年後には今ある職業の半分がなくなる」と唱えています。この「なくなる職業」に、「税務申告書代行者」がランクインしており、そこから将来的に税理士の仕事はなくなる！と税理士会では大きな話題となりました。

2014年の発表からしばらく経っておりますが、実際にITやAIは日進月歩で発展を遂げる中、税理士の仕事も大きく変わりつつあります。

税理士の主な仕事としては、税務申告書の代理作成申告、税務相談、税務調査の立会、帳簿の作成を代行する記帳代行などがあります。記帳代行においては、通帳のデータを取り込んだ自動帳簿作成、領収書をスキヤナーに通すと自動的に仕訳をおこなうなど実際にできるようになってきました。上手にコンピューターを使えば、簿記会計の知識があまり無くても自動で帳簿が作成できるようになってきています。

クラウド会計ソフト「freee」など、便利な会計ソフトが普及し、以前よりも個人が会計や税務処理を身近に感じている状況は出てきています。freeeは「300人規模の企業であれば、経理担当は0.8人で済む」と試算しており、現在、同規模の企業は、平均3.7人の経理担当を雇っているため、約3人が減るという計算になります。

実際にエストニアでは個人向けの税務代行業が絶滅したとも言われているそうです。人口が約130万人と、日本のおよそ100分の1の規模の小さな国ですが、ITの進化は世界でもトップクラスで、医療や教育、選挙など、生活に関する手続きの多くがインターネット上で完結するそうです。税制度が簡素化されたことで、多くの人が簡単に手続きできるようになりました。

日本でもこのままITが発展を続けていけば、エストニアのように税理士の仕事がなくなってしまうと考える方もいるでしょう。しかし、現在の日本における税制度はまだ複雑で、専門的な知識が必要とされることが多くあります。日本においても、国税庁のHPの申告作成ソフトは非常に優秀で便利ではありますが、実際申告となるとわからないことも多いため確定申告の時期の無料相談会や税務署が開設する確定申告会場には多くの納税者が足を運びます。単純な事務作業はAIで代用できるかもしれませんが、本来の税理士の価値は事務作業の代行ではありません。すべての税理士が仕事を奪われることはないと思っております。

進化を続けるAIですが、決して万能ではありません。ここ数年、AIがブームになり、さまざまところで利用されるようになりましたが、AIには得意・不得意があります。

クリエイティブな仕事やアーティスティックな仕事、接客業などは、先ほどの論文内でも人間が優位になる仕事の領域とされております。

納税者の方は、税理士に税務申告や会計処理だけを期待しているわけではありません。作業については、正確に処理できればプロセスは気にしていないことがほとんど

だと思われ、それこそAIに取って代わられる部分です。

税理士に依頼する方は、貸借対照表や損益計算表の作成といった事務作業を代行してほしいわけではなく、そこから見える今後の事業の展開をサポートしてほしいのではないかと考えています。

イレギュラーなことをどう処理するかは人間の柔軟な判断力が求められます。

事業を継続していく中で発生する税務相談の中には人間関係や感情が絡む場合もあるでしょう。顧問先の事情に寄り添い、最適な方法を示すことこそ、税理士の価値ではないかと思えます。

また、AIに難しいこととして、コミュニケーションが挙げられます。他業界の専門家とコミュニケーションを積極的にとり、「相手の懐に深いところに入り込んで、柔軟な判断、アドバイスをすること」ができるのは、生身の税理士だからこそできることではないでしょうか。日常会話からはじまり、何気ないきっかけから“本音の相談”がポロッと出てくることもあります。そんな本音の相談を大事にし、少しでも顧問先の役に立てるように今後も努力を続けたいと思えます。

今は、新型コロナウイルス感染症による影響で日本経済、とりわけ中小企業経営は苦境に見舞われています。政府は、雇用の維持や事業の継続、生活の下支えを最優先とする緊急対応策を矢継ぎ早に打ち出しており、財政・金融・税制などあらゆる政策手段を総動員しています。

しかしその一方で、コロナ感染症が落ち着いた後、売上が戻るのか？借入の返済ができるか？などの不安を抱えている企業も多いかと思えます。中小企業に寄り添って「親身の相談相手」として経営者の不安を解消し、勇気を与え、当面の危機を乗り越えるための支援に全力を注いで地域に貢献していきたいと思っております。

まずは、何より相談したいと思っておりますように自分自身の人間力を高めていきたいと思えます。

最後に、私の趣味について少し話をさせていただきます。私はお酒が大好きで、毎日の晩酌を楽しみにしております。最近健康診断の血液の値が徐々に悪化してきており、お酒を止められればいいのですが、なかなかそうもいかず、糖質0のビールに切り替えました。しかし、福島は皆さんご存じの通り酒どころですので、日本酒の味を覚えてしまいました。糖質0のビールを飲み、糖質たっぷりの日本酒を楽しんでおります。

コロナが落ち着きましたら皆様と日本酒を一緒に飲み色々勉強させていただきたいと思えます。

とりとめの話で大変恐縮でございますが、これで私のスピーチを終わらせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

新会員スピーチ

JRA 福島競馬場 場長

藪 政勝 会員



皆様、こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました福島競馬場の藪政勝です。本日は、新会員スピーチを行う機会をいただき、ありがとうございます。本年3月、佐藤英典先生のご尽力により、伝統ある福島ロータリークラブに入会させていただきました。日頃の会員の皆様のご厚意に対しまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

大阪府吹田市の出身

さて、まずは私の生い立ちなどについてお話をさせていただきます。私は、1965年、大阪府の吹田市というところで生まれました。本日、ご入会された寺田さんのご出身である摂津市は、隣町になります。吹田市は、大阪市の北側に位置し、そのベッドタウンとして拓けた町で、日本で最初のニュータウンと言われている千里ニュータウンがある町としても知られています。1970年には、岡本太郎さんの「太陽の塔」で有名な日本万国博覧会が、吹田市の千里丘陵で開催されました。EXPO'70と呼ばれた日本初の国際博覧会ですが、この開催にあわせて、吹田市内にも地下鉄の駅ができ、その周りには大きなビルやマンションが立ち並ぶようになり、昭和40年代の高度経済成長を子供心に実感したことを覚えています。

先日、ロータリークラブに入会した際に、「今日からロータリアン」というオリエンテーション誌を頂戴しましたが、その中に「1970年、大阪千里の万博会場にて、連日、ロータリー例会が開催され、日本全国から23,300名ものロータリアンが参集した」との記述を拝見し、当時の懐かしい風景を思い出すとともに、あらためて、ロータリー活動の長い歴史を感じた次第です。

阪神タイガースの大ファン

その後、私は大学を卒業するまでの22年間、ずっと大阪で過ごしました。ですので、今でも、「阪神タイガース」と「たこ焼き」が大好きです。高校生のときには、阪神甲子園球場でビールやアイスクリームを売り歩く売子の子アルバイトを始めましたが、ついついタイガースの応援に夢中になってしまい、店長によく叱られました。

今年のタイガースは、新人の佐藤選手などの活躍により好調で、現在、コロナ禍でステイホームを強いられる日々ですが、タイガースのおかげで、毎日、楽しくテレビでナイター観戦をしています。タイガースが勝つと、古

関裕而さんの名曲「六甲おろし」がスタジアムに流れますが、私も気分を高揚させながら、テレビの前で一緒に口ずさんでおります。

ラグビー部での活動

高校・大学時代の思い出といえば、なんといっても、多くの仲間と毎日遅くまで打ち込んだラグビー部での活動です。フォワードの選手が、敵とのスクラムや密集の中で、体を張って必死にボールを奪いとり、それをボックスに回す。ボールを受け取ったボックスは、一人ひとり大事にパスを回して、みんなでトライを目指して前進していく。そうしたチーム全体で戦う一体感が大好きで、7年間、夢中になって楯球のボールを追いかけていました。

高校のラグビー部に入ったとき、ある先輩が、「ラグビーという字を漢字で書くと、『楽しい』の楽という字、『苦しい』の苦という字、それに『備える』の備という字、この三文字で『楽苦備』と書く。このスポーツは、楽しい面と苦しい面、両方兼ね備えていて、一生懸命、苦勞して努力してこそ、楽しくなるスポーツだ」と教えてくれました。本当にそのとおりで、当時のことを思い出すと、トライを決めた楽しい思い出とともに、多くの悔し涙を流した合宿での思い出などが脳裏に浮かんできます。

ラグビーを通じて、身体を鍛えたことだけでなく、仲間との信頼関係や努力して得る達成感など、社会に出て役立つ多くのことを経験し、学ぶことができた感謝しています。なかでも、一番教えられたことは、「コミュニケーションの大切さ」で、今の実生活でも大事にしています。ラグビーは、15人対15人の団体スポーツで、個々の能力がいくら高くても、チームとしてのまとまりがなければ、好結果は得られません。まとまるためには、お互いの考えをきちんと発信し、それをみんなで理解し、共有していくことが重要で、監督からも、「絶対に黙ってプレイをするな」とよく言われました。特に試合では、刻々と状況が変化する中、「パスをくれ」とか「後ろに蹴れ」など、仲間にはっきりと思いを伝え、お互いに確認しながらプレイすることが欠かせませんでした。

機会があれば、ぜひ皆様にもラグビー観戦をしていただきたいのですが、強いチームほど、みんながうるさいくらいに大きな声を掛け合いながら、試合を進めています。また、試合中にうまくいかないことがあれば、直ちに円陣を組んで、お互いの意思疎通や軌道修正を図っているシーンをご覧いただけるかと思います。

競馬との出会い

その後、私は、日本中央競馬会に就職するわけですが、そもそも私が競馬に興味を持ったきっかけは、中学3年生のときの社会科の先生の影響でした。その先生は、大

の競馬好きで、「馬の名前を覚えると英単語の勉強になる」とか、「競馬のレース名にはいろんな地名が使われていて地理の勉強になる」とか、当時はおおらかな時代だったのか、授業中、脱線してよく競馬の話をしていました。今でも覚えているエピソードですが、ある日、歴史の教科書に、白馬に跨ってアルプスを越えようとするナポレオンの有名な肖像画が載っていました。これを見た先生は、「この馬は、筋肉質でパワーがありそうだ。こういう馬は、山を越えるには不向きで、どちらかという短距離向きの馬だな」と、ナポレオンのことには一切触れず、白馬についてのみコメントをされていました。そのようなユニークな先生でしたが、競馬がイギリスの王侯貴族の遊びからが始まった話や300年以上にわたって連綿と受け継がれているサラブレッドの血統の話など、興味深い競馬の話をいろいろと教えてくれました。

本格的に、将来競馬の仕事に就きたいと思ったのは、高校3年生の秋、ミスターシービーという馬が勝った菊花賞を京都競馬場で観戦したときのことです。そのレースは、道中、最後方にいたミスターシービーが向こう正面で一気に先頭に立ち、そのまま押し切って一着、シンザン以来19年ぶりの三冠馬になるというとてもドラマチックなレースでした。10万人を超える大勢のファンが一体となって、一頭の馬に地鳴りのような大歓声を上げ、割れんばかりの拍手で勝利を讃えるというシーンに立ち会い、その感動と興奮から競馬を一生の仕事にしたいと強く思いました。

JRA 日本中央競馬会に就職

そうしたことから、私は、大学を卒業した1988年にJRA 日本中央競馬会に就職し、今年で33年になりました。これまでの勤務場所は、約20年間が東京のJRA 本部、残りが全国各地の事業所となっています。本部では、主に人事部に所属し、人事厚生や労務関係などの仕事を担当していました。本日、五阿弥会長から、近年の少子高齢化の問題についてお話がございましたが、私も担当者として、社内の育児休業や介護休暇制度の推進、長時間労働の抑制、休暇の取得促進など、「仕事と家庭の両立支援策」には、企業レベルではありますが、長年注力してまいりました。

また、全国の事業所については、現在の福島競馬場のほか、茨城県的美浦トレーニング・センター、福岡県の小倉競馬場、千葉県の中山競馬場などで勤務してまいりました。新人時代に勤務した美浦トレーニング・センターは、競走馬を調教するための施設ですが、東京ドーム約50個分の広大な敷地のなかを、千頭を超えるサラブレッドが縦横無尽に疾走しているという光景を目の当たりにし、その迫力に圧倒されました。中山競馬場は、1990年

代の競馬ブームの絶頂期のなかでの勤務地で、年末に行われる有馬記念では、入場人員が毎年15万人を超えるというもの凄い時代でした。1996年の有馬記念の売り上げは875億円で、これは今でも1レースの売り上げ世界一としてギネスブックに掲載されています。当時は、中山競馬場総務課に所属し、レースを盛り上げるイベントやプロモーションなどを担当していましたが、高校生の時に感じた感動や興奮を、微力ですが、主催者の一員として多くのお客様にご提供できたことをとても嬉しく思いました。

福島競馬場長に就任

さて、本年の3月からは、福島競馬場長に就任し、早いもので3か月が経過いたしました。例年であれば、春の福島開催が終了し、夏の開催に向け、お客様をお迎えする準備に追われるという時期ですが、2月に発生した福島県沖地震により、スタンドの一部に被害を受け、残念ながら、春の福島開催は取りやめとなりました。福島ロータリークラブの皆様にも、職場訪問例会として、福島競馬場へご来場いただく予定をしておりましたが、本年は中止となり、誠に申し訳ございませんでした。また、7月からの夏開催についても、お客様エリアのスタンド復旧が間に合わず、無観客での競馬開催となりました。11月の秋開催には、多くのお客様に安心してご来場いただけるよう、スタンドに万全な安全対策を施したうえで、現在、復旧工事に鋭意取り組んでいるところでございます。

大正7年、福島競馬場がこの地に生まれ、今年で103年目を迎えますが、これまでの長い間、地元福島市や地域の皆様とともに歩んでまいりました。今後も、地元の一員として、地域の皆様から愛される競馬場であり続けるとともに、競馬開催や乗馬普及などの競馬事業を通じて、地域の振興や活性化に尽力してまいりたいと存じております。

最後に、まだまだ未熟者の私ですが、この伝統ある福島ロータリークラブの皆様とのお付き合いなどを通じて更なる成長をしていきたいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。以上が新会員スピーチとなります。本日はご清聴ありがとうございました。



福島ロータリークラブ Facebookページ
<https://www.facebook.com/fukushimarotary/>



スポGOMI大会 in 福島開催

スポGOMI大会in福島が7/11(日)に開催されます。
 スポGOMIはチームで力を合わせ、制限時間内に定められたエリア内でゴミを拾い、その種類と量をポイントで競い合う、環境美化活動を融合させたスポーツです。チームで力を合わせ、制限時間内に定められたエリア内でゴミを拾い、その種類と量をポイントで競い合う、環境美化活動を融合させたスポーツです。ルールも簡単なので、お子様からご高齢者までどなたでも楽しめます。
 ぜひ優勝目指してご家族や友人、学校や地域の仲間に参加してみませんか。



新会員入会式



●みずほ証券
 福島支店長
 てらだ みつる
 寺田 充 様
 (紹介者 渡辺健寿会員)

幹事報告

- お知らせ**
- 6/27(日)開催の県北第一分区分区親善ゴルフ大会の申し込みは本日までとなっております。参加ご希望の方は事務局までお申し込みください。
 - 第2530地区「地区史購入申し込み」も本日までとなっております。また、「友」6月号にもご紹介されていますが、日本のロータリー100年の歴史が掲載されたロータリー日本100年史が発売されています。クラブで取りまわして購入しますので、ご希望の方は事務局までお知らせください。
 - 6/11(金)午後6時より県北第一分区分区新田合同会長幹事会が開催されます。当クラブからは五阿弥会長、坪井会長エレクト、相良副会長、佐藤幹事が出席されます。
 - 6月ロータリーレートは1ドル109円となりますのでお知らせいたします。

ロータリーの友 6月号のご紹介
 公共イメージ委員会 田沼紀美子 委員長

何が決め手になったのか

「環境美化活動が、環境保護活動の入り口となることが、環境美化活動の大きな意義である。環境美化活動を通じて、環境保護活動の意識を高めることが、環境美化活動の大きな意義である。」

環境

「環境美化活動を通じて、環境保護活動の意識を高めることが、環境美化活動の大きな意義である。」

「環境美化活動を通じて、環境保護活動の意識を高めることが、環境美化活動の大きな意義である。」



例会プログラムのご案内

6月24日(木) 12:30 ~ クーラクーリアンテ サンパレス

- 【通常例会】五阿弥宏安会長スピーチ
 佐藤美奈子幹事スピーチ
 委員会年間活動報告**
- *情報小委員会 小原 敏 委員長
 - *社会奉仕委員会 相良 元章 委員長
 - *青少年奉仕委員会 菅野 晋 委員長
 - *米山記念奨学会委員会 箱岩 偉 委員長

「My Healthy Action (健康と福島を知る)」開催

6/12(土)、県北第一分区分区行事「My Healthy Action (健康と福島を知る)」が開催されました。当クラブからは、櫻井英樹会員、小野悦也会員、坂本壮敏会員、佐藤美奈子幹事夫妻の5名が参加いたしました。総勢60名程が参加し、護国神社で健康祈願をした後、晴天に恵まれた新緑の信夫山を散策し、古閑裕而記念館を見学しました。信夫山ガイドセンターでは、「勝守」を頂きました。散策中、美しい景色を見ながら多くの皆さんと会話を楽しみ、心身ともにリフレッシュしました。



ニコニコBOX報告 本日の投入額 31件 ¥65,000 累計 ¥2,520,000 [報告] 金子與志人 副委員長

五阿弥 宏安 会長
 寺田さんのご入会を歓迎いたします。佐藤会員と藪会員の
 新会員スピーチを楽しみにしています。
佐藤 美奈子 幹事
 佐藤会員、藪会員の
 新会員スピーチを楽しみにしています。
渡辺 健寿 会員
 久しぶりの会食例会、嬉しく思います。寺田充様
 の入会を心より歓迎いたします。ロータリーを大いに楽しんでください。
寺田 充 会員
 初めての参加になります。今後とも宜しく
 お願いいたします。

佐藤 充孝 会員
 スピーチ頑張ります！
幡 研一 会員
 佐藤会員、藪会員のスピーチを楽しみに
 しています。

クラブ会員より 安藤健次郎 / 伊藤雄治 / 植田リサ / 岡田新也 / 小原 敏 / 加藤義朋 / 金子與志人 / 菅野 晋 / 菅野晴隆 / 菅野裕一 / 熊谷 謙 / 児玉健夫 / 小林仁一 / 相良元章 / 佐藤美奈子 / 丹治正博 / 坪井大雄 / 半沢治久 / 村上守人 / 八代大輔 / 藪 政勝 / 八巻恵一 / 山貫昭子 / 吉田大樹